

庄内地区 「9月29日(日)」

「第1回庄内ふれあい健康まつり」が開催されました

まちづくり庄内地区会議では、例年行なわれている地区運動会を「交流の場」と位置付け、より多くの方に参加してもらいたいという想いで、昨年からは、地区運動会について検討を重ねてきました。

競技性を薄くし、「運動会」から「まつり」というイメージを持つてもらおうと、名称を「庄内ふれあい健康まつり」と名付けました。競技の種目について区長会に提案するとともに、参加される方ももちろん、応援に出かけてくださる方も楽しんでいただけるように、競技場外でのイベントを計画しました。

この取り組みの目的は、庄内地区の



▲大山町のゆるキャラ「やまさち」も参加

交流だけではなく、地域の支え合いを進め、組織づくりにつなげるものとして計画しました。

大鍋で400人分の豚汁を

まつり当日は、まちづくり委員とボランティアが豚汁を作り、参加者に提供しました。実は大鍋での調理は、誰も経験がなかったため、事前に50人分の豚汁の試作をしました。「おいしい」と好評を得たので大鍋作りに自信をつ

け、本番を迎えました。試作の甲斐もあって、当日は400人分の豚汁がきれいになりました。また、各集落や福祉施設からも、炊き込みご飯、おこわ、焼きそば、フランクフルト、コーヒ―、野菜が出店され、まつりをさらに盛り上げていただきました。

町としては、このような取り組みは、地域をつなぐきっかけになると考えています。お互いの助け合いの大切さを、誰もが感じたまつりになったのではないのでしょうか。

御来屋ナイトウォーク

御来屋地区 [8月17日(日)]



▲夏の思い出づくりにも一役買った「ナイトウォーク」

まちづくり御来屋地区会議では、子どもたちが夏休みの8月に「御来屋ナイトウォーク」を行いました。

これは、夜の御来屋地区の様子を見てもらうこと、ナイトウォークのほかに「星空の観察」を加え、地域の子どもたちと大人との交流を図ることを目的として計画しました。

当日は、参加者とまちづくり委員の総勢40人が、漁村センターから出発。懐中電灯を手に、海沿いの道を約2キロ歩きました。子どもたちも夜の御来屋を歩くのは新鮮だったようで「漁火がきれい」と会話も弾んでいました。

途中、名和中学校のグラウンドで、ボランティアの方に星座の解説をしていただきました。また、望遠鏡を使って月の観察をしました。参加者からは「楽しく世代間交流ができた」との声が聞こえました。



▲いいにおいが会場に広がりました